

会 議 記 録

会 議 名	杉並区立杉並第一小学校併設 1 施設移転改築工事設計等業務委託受託者候補者選定委員会（第 1 回）
日 時	令和 6 年 9 月 7 日（土）午後 2 時 00 分～午後 4 時 28 分
場 所	杉並区役所東棟 6 階教育委員会室
出席者	委員 首都大学東京 名誉教授：深尾 精一 早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授：高口 洋人 東京学芸大学こどもの学び困難支援センター 准教授：入江 優子 杉並建築会：林 美樹 杉並区教育委員会事務局 次長：岡本 勝実 杉並区都市整備部長：中辻 司 杉並区教育委員会事務局学校整備・支援担当部長：高山 靖
	事務局 教育委員会事務局 学校整備課長：安川 卓弘 教育委員会事務局 学校整備課 教育施設計画担当係長：岡本 智彦
資料	事前 資料 4 選定委員会審査日程表（案） 資料 5 実施要領（案）（別紙基本計画等含む） 資料 6 選定基準（案）
	当日 資料 1 委員名簿 資料 2 杉並区プロポーザル選定委員会条例 資料 3 選定委員会座席表 資料 4 選定委員会審査日程表（案） 資料 5 実施要領（案）（別紙基本計画等含む） 資料 6 選定基準（案） 資料 7 諮問書
次 第	1 選定委員会委員委嘱 2 委員自己紹介 3 会長互選及び会長職務の代理者指名 4 議題 (1) 第一回選定委員会の進め方と今後について (2) 実施要領について (3) 選定基準と配点について (4) 今後の日程について

<p>会議の結果及び主要な発言</p>	<p>開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、条例や要綱等基準にもとづき、応募者には選定結果の通知があるまでの間、委員に自己を有利にする又は他者を不利にすることを目的に接触する行為が禁止されていることや、双方に利害関係が発生していた場合に委員は審査に加わることができなくなる等、本選定委員会の注意事項について説明。 また、本会終了後の選定結果、及び匿名下での各委員の採点内訳と各会の要点記録の公表について説明。
	<p>選定委員会委員委嘱及び委員自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より委嘱状の交付を行った後、各委員が簡単な自己紹介を行った。 <p>会長互選及び会長職務の代理者指名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長は深尾委員、会長職務の代理者には高口委員が指名された。 <p>議題</p> <p>【進め方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、今回を含め、選定委員会は3回の開催とし、初回となる今回は、公募に係る進め方等を議題とし、次回以降は2段階方式審査に各回をあてることを説明。 ・本日の議題である実施要領、選定基準及び今後の日程等について検討を行い、用語や記載方法等について質疑があり、事務局より説明を行った。なお、委員から上げられた主な意見は次のとおり。 <p>【実施要領について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案内容は比較評価が重要なので、二次審査まで進める応募者数を5者まで増やす。 ・実施要領「4. 応募者参加資格」の同種・同類の実績の規定について、より分かりやすくなるように精査し改める。 ・企業実績及び実施体制等に対する評価基準「基本方針の理解と意欲」における「評価の内容」(か)について、評価するポイントが分かりやすくなるよう改める。 <p>【選定基準と配点について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会的責任」については、個々の項目別ではなく、包括的な内容を踏まえた評価とする。 ・有資格者の雇用状況にかかる内訳と配点は、再調整する。

- ・各評価項目に対する配点については、本委託業務における重要度等に応じて一部見直す。
- ・技術提案等に対する評価の配点割合については、基本方針のビジョン配下にある取組の分量で配点を割り振るのではなく、ビジョンの優位性等を加味した配点に改める。
- ・総合評価はビジョンごとに行うこととし、配点も高くする。

【今後の日程について】

- ・実施要領に定めたもののほか、委員への応募者提案資料の送付予定日等について定めた。
- ・事務局にて、実施要領と様式及び選定基準について、各委員からの意見、質疑を踏まえた最終稿を作成し、メールにて委員の確認を得た後、本件プロポーザルの公募を開始することとした。
- ・次回の開催について

令和6年10月28日（月） 午前10時～

以上

会 議 記 録

会 議 名	杉並区立杉並第一小学校併設 1 施設移転改築工事設計等業務委託受託者候補者選定委員会（第 2 回）	
日 時	令和 6 年 10 月 28 日（月）午前 10 時 00 分～午後 0 時 05 分	
場 所	杉並区役所 中棟 第 2 委員会室	
出 席 者	委 員	<p>首都大学東京 名誉教授：深尾 精一</p> <p>早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授：高口 洋人</p> <p>東京学芸大学こどもの学び困難支援センター 准教授：入江 優子</p> <p>杉並建築会：林 美樹</p> <p>杉並区教育委員会事務局 次長：岡本 勝実</p> <p>杉並区都市整備部長：中辻 司</p> <p>杉並区教育委員会事務局学校整備・支援担当部長：高山 靖</p>
	事 務 局	<p>教育委員会事務局 学校整備課長：安川 卓弘</p> <p>教育委員会事務局 学校整備課 教育施設計画担当係長：岡本 智彦</p>
資 料	事 前	<p>資料 1 応募参加者申込書等（様式 1～5）（副本）一式</p> <p>資料 2 第一次審査（書類審査）採点表（案）</p> <p>資料 3 書類審査詳細評価（案）</p>
	当 日	<p>資料 4 第一次審査（書類審査）採点表（案）（写し）</p> <p>資料 5 書類審査詳細評価（案）（資料 3 の印刷）</p> <p>資料 6 経営状況分析報告書</p> <p>資料 7 一次審査結果通知（案）</p> <p>資料 8 第二次審査レイアウト図（案）</p>
	議 決 後	資料 9 第一次審査（書類審査）採点表 結果
次 第	<p>1 第一次審査の進め方</p> <p>2 議題</p> <p>（1）第一次審査について</p> <p>（2）第一次審査通貨事業者の決定について</p> <p>（3）第二次審査について</p>	

会議の結果及び主要な発言

開会

- ・会長の開会宣言の後、事務局より、応募者数と提出された企業実績及び実施体制等の他、採点用に配布した資料等について使用方法等を説明。

第一次審査の進め方

- ・各項目における企業実績及び実施体制等に対する評価基準に沿った評価と配点の確認と検討の方法について、事務局より説明し、委員からの質疑回答を行った後、議題に進む。

議題

【第一次審査について】

- ・応募者より提出された企業実績及び実施体制等に対する評価基準の各項目における評価と、割り振る配点について審議を行い、各応募者の採点を行った。なお、審議の際の要点は次のとおり。
- ・本件は、対象が区内では一般的な小学校であることに鑑みて、資本金の評価における上限値を修正して再評価する。
- ・同種等の実績の評価については、杉並第一小学校の学びのプラットフォームとしての機能を訴求していくにあたり、他施設が有する多様な機能の評価において有効となるような基準にて評価する。
- ・ビジョンの理解や意欲は見て取れたが、具体的な提案については、今後の技術提案次第になると感じた。
- ・理解については、阿佐谷という地域に対しての独特な思い入れや課題認識が感じられないものと、事情をよく酌み取ったと感じられるものがあった。
- ・ビジョンについては理解で終わっていると感じる部分もあるが、今後の技術提案でどこまで深く理解し、具体の提案が行っていただけているのか、しっかりと審議していきたい。

【第一次審査通過事業者の決定について】

- ・一度委員全員が採点を行って集計結果を確認した。その後、委員全員で各項目に対する見解等について意見交換を行った後に再度採点を行い、再集計結果を積算し、全応募者が基準値以上の得点を得ていたことを確認した。このため、全応募者に対し一次審査通過者として、期限までに技術提案等を提出し、次回選定会に出席してプレゼンテーションとヒアリングを行っていただけるよう通知することとした。

【第二次審査について】

- ・事務局より、第二次審査の進め方と注意事項について説明を行い、時間配分やヒアリング時の手法等について審議した。審議の要点は次のとおり。
- ・応募者が説明に使用できる資料は、期限までに提出された技術提案等となっているが、質疑に際し委員が速やかに理解できるよう、画像等についてCADデータからモデリングを行って作成している場合、当該データを使用して質疑応答が行えることとした。
- ・失格条件について、誤って口走ってしまった内容までも一律に扱うことは、質疑応答の場では条件が厳しい過ぎることから、「意図」の有無を要件に追加することとした。

・次回の開催について

令和6年12月15日（日） 午後3時～

以上

会 議 記 録

会 議 名	杉並区立杉並第一小学校併設 1 施設移転改築工事設計等業務委託受託者候補者選定委員会（第 3 回）	
日 時	令和 6 年 12 月 15 日（日）午後 3 時 00 分～午後 6 時 24 分	
場 所	杉並区役所 東棟 教育委員会室	
出 席 者	委 員	<p>首都大学東京 名誉教授：深尾 精一</p> <p>早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授：高口 洋人</p> <p>東京学芸大学こどもの学び困難支援センター 准教授：入江 優子</p> <p>杉並建築会：林 美樹</p> <p>杉並区教育委員会事務局 次長：岡本 勝実</p> <p>杉並区都市整備部長：中辻 司</p> <p>杉並区教育委員会事務局学校整備・支援担当部長：高山 靖</p>
	事 務 局	<p>教育委員会事務局 学校整備課長：安川 卓弘</p> <p>教育委員会事務局 学校整備課 教育施設計画担当係長：岡本 智彦</p>
資 料	事 前	応募者技術提案等資料（様式 6～8 及び見積書）（副本）一式
	当 日	<p>資料 1 応募者参加申込書等（様式 1～5）（副本）一式 1 部</p> <p>資料 2 第一次審査（書類審査）採点表 結果</p> <p>・第二次審査採点表 2 部</p>
	議 決 後	資料 3 第二次審査採点結果
次 第	<p>1 審査の進め方</p> <p>2 議題</p> <p>（1）第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査）</p> <p>（2）受託者候補者の選定</p>	
会 議 の 結 果 及 び 主 要 な 発 言	<p>開会、審査の進め方</p> <p>・会長の開会宣言の後、事務局より、プレゼンテーション及びヒアリングの進め方及び採点用に配布した採点表等について、使用方法等を説明。</p> <p>委員からの質疑の後、議題に進む。</p>	

議題

【第二次審査】

- ・ 各応募者より 15 分間のプレゼンテーションが行われた後、25 分間のヒアリングを行った。ヒアリングの際に各応募者に対し行われた質疑の要点は次のとおり。
- ・ 校庭面積等、規模について、各者が見込める値を確認した。
- ・ 地盤対策について質問を行い、方向性等について提案を受けた。
- ・ 計画通知確認済証の取得や新校舎竣工期限について、期間を順守し進めていくことは無論、配置等のプラン変更を行う場合も期間内に対応できることが確認された。
- ・ 学校や子ども達の声の反映、住民説明等への対応について、実績に基づいた取組や意見の取り纏め方等について提案があり、本プロジェクトでも、資料作成やファシリテート等、しっかりとした対応を行って設計を進めていくと説明を受けた。
- ・ 吹き抜け、バルコニー、屋上等、高所の安全対策は重要で、通常のレベルでは乗り越え等の危険があるため、高さや使用材、形状等を工夫し、万全の対策を行う。
- ・ 災害発生時等の地域利用の動線や地震対策における考え方について説明を受けた。
- ・ コスト削減と装飾等設えのバランスについて、提案内容の詳細を確認し、使用材や造り、長寿命化対策や校舎及び諸室配置、運用方法や樹木管理等について、提案に対し質問を行い、応募者より概ね適切な回答を得るとともに、課題があるものについては改善していく旨の説明があった。

【受託者候補者の選定】

- ・ 全社のプレゼンテーション・ヒアリングが終了した時点で選定委員間での意見交換を行った。主な意見は次のとおり。
- ・ 組織、或いは今日来た担当者がどのくらいしっかり考えていて、今後の運営をうまくできる人達かを評価していきたい。
- ・ 校内の空間を広くとる提案が多かったが、広すぎるとかえって落ち着かない子ども達もいるため、色々な空間を設ける必要がある。安全面含め、今後の学校や地域との対話を含めた設計プロセスで、しっかりと検討していただく必要があると思う。
- ・ 提案で、校庭の面積確保に重きをおいた場合、校舎の配置場所次第で、その広さが大きく変わってくるが見て取れた。

- ・各社とも具体的に考えており、プレゼンだけをとると大差がつく内容ではなかったが、本件は地域の方の関心が非常に高いことから、信頼関係を築きながら、一緒にやっていける事業者かどうかを評価したい。
- ・学校関係者や地域の方達と丁寧な話し合いを行いながら、しっかりとした設計を進めていくという点において、ヒアリングでは各社の差異が感じられた。
- ・今回のように短期間のプロポーザルだと、もっと大差となり、こなれていない提案が出てくることも想定したが、どの事業者に決まっても、支障がでることはないという印象を受けた。十分な検討をこの短期間でやっていただけたと思う。
- ・意見交換の後、委員全員が採点を行って集計結果を確認した。いずれの事業者も審査基準で定めた評価点数の60%を超えているものの、C社が最高得点であるため、C社を本業務の受託者候補者として選定することとし、杉並区教育委員会へ答申するものとした。

以上